



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 トランス・コスモス株式会社

コード番号 9715 URL <http://www.trans-cosmos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 奥田 昌孝

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO (氏名) 本田 仁志

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

TEL 03-4363-1111

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	80,535	1.9	2,469	△40.4	2,380	△41.5	1,573	△33.4
24年3月期第2四半期	79,030	6.3	4,143	70.8	4,070	64.1	2,363	△6.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,059百万円 (△62.7%) 24年3月期第2四半期 2,835百万円 (52.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	38.25	—
24年3月期第2四半期	57.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	86,207	48,394	51.9	1,086.66
24年3月期	93,137	48,819	48.7	1,101.41

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 44,709百万円 24年3月期 45,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	37.00	37.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の配当予想は未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 有 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	48,794,046 株	24年3月期	48,794,046 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	7,649,972 株	24年3月期	7,649,709 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	41,144,132 株	24年3月期2Q	41,145,107 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、復興・復旧関連需要を背景に公共投資や企業の設備投資が増加し、内需を中心に持ち直す動きが見られたものの、欧州の景気後退、中国やインド経済の成長ペースが鈍化するなど海外経済の減速を受け、足踏み状態が続きました。

当社グループの関連する情報サービス業界では、ソフトウェアの受託開発業務を中心にアウトソーシング需要が拡大しており、企業のIT投資マインドが改善してきております。また、グローバル展開の積極化、国際競争力の強化といった企業ニーズの高まりを受け、コスト削減に繋がるBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）や売上拡大に繋がるデジタルマーケティングなどへの需要も拡大しております。

このような状況の下、当社グループは引き続き、新卒採用の拡大や新規事業開発の体制強化、新規受注業務の立上げといった先行投資や一部大型スポット案件の終了などによる収益への影響はあったものの、サービスの高付加価値化、海外展開の加速化など将来戦略に向けて経営・事業基盤の強化に取り組みました。

具体的には、CRM調査・分析市場において、KPO（ナレッジプロセスアウトソーシング）の提供体制を強化するため、平成24年5月にCRM分析・コンサルティング専門子会社「トランスコスモス・アナリティクス株式会社」を設立し、同年8月に営業を開始しました。また、急速に普及するスマートデバイスや進化するアドテクノロジー、台頭するソーシャルメディアなどにより高度化、複雑化するインターネット広告分野において、より効果的、かつ効率的に広告の運用管理を実現する統合型広告運用プラットフォームの運用を開始しました。海外では韓国において、従来の韓国市場向けコールセンターサービスに加えて、Webサイト制作サービスやインターネット広告サービス、EC支援サービスなどを提供するデジタルマーケティングサービスの本格展開を開始しました。同時に韓国最大のオンラインショッピングモールであるGmarket（ebayグループ）の海外向け販売事業の支援も開始しております。

以上の取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高80,535百万円となり前年同期比1.9%の増収となりました。利益につきましては、大型スポット案件の終了など売上総利益率の低下により、営業利益は2,469百万円となり前年同期比40.4%の減益、経常利益は2,380百万円となり前年同期比41.5%の減益、四半期純利益は1,573百万円となり前年同期比33.4%の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(単体サービス)

当社におけるアウトソーシングサービス事業等につきましては、売上高は65,760百万円と前年同期比4.3%の増収となりました。また、大型スポット案件の終了や新規受注に伴う先行投資などにより、セグメント利益は1,821百万円と前年同期比39.7%の減益となりました。

(B to B国内子会社)

B to B国内子会社につきましては、売上高は10,598百万円と前年同期比0.6%の増収となり、デジタルマーケティング子会社におけるコスト削減効果などにより、セグメント利益は443百万円と前年同期比34.2%の増益となりました。

(B to B海外子会社)

B to B海外子会社につきましては、韓国におけるコールセンターサービスの受注が好調に推移し、売上高は8,400百万円と前年同期比12.1%の増収となりました。また、オフショア開発において受注の減少に伴う稼働率の低下などにより、セグメント利益は113百万円と前年同期比26.7%の減益となりました。

(B to C子会社)

B to C子会社につきましては、製品のリリース時期の影響などにより、売上高は1,105百万円と前年同期比64.1%の減収となり、セグメント利益は64百万円と前年同期比88.2%の減益となりました。

なお、セグメント利益につきましては、四半期連結損益計算書における営業利益をベースにしております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて6,929百万円減少し、86,207百万円となりました。このうち流動資産につきましては、4,798百万円減少し、61,897百万円となりました。これは、借入金返済などによる現金及び預金の減少や当社における欠損金に係る繰延税金資産が減少したことなどによるものであります。固定資産につきましては、2,131百万円減少し、24,310百万円となりました。これは投資有価証券の上場株式時価評価による減少や関係会社株式の一部売却による減少などであります。

また、負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べて6,504百万円減少し、37,813百万円となりました。これは主に借入金の返済による減少であります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べて424百万円減少し、48,394百万円となり、自己資本比率は、51.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ1,681百万円収入が減少し、2,541百万円の収入となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益等が減少したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において890百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は914百万円の支出）となりました。この主な要因は、関係会社株式の売却による収入が増加したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ5,003百万円支出が増加し、6,894百万円の支出となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入が減少したことによるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は、前連結会計年度末に比べて3,418百万円減少し、32,551百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期については、お客様企業の売上拡大・コスト削減といったニーズに対し、より適合したサービスの創出に注力するとともに、中国、韓国をはじめとしたアジア市場での事業展開を加速させ、前期実績を上回る業績を確保することを目指しております。

なお、当社グループの事業は、あらゆる業種・業界のお客様との取引で成り立っており、変化の激しい経済環境の中、短期的な視点で企業活動の動向を見極めることは大変困難であります。よって、当社グループの平成25年3月期連結業績予想については、合理的な算定ができないため記載しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,585	33,167
受取手形及び売掛金	24,571	24,014
有価証券	—	37
商品及び製品	11	11
仕掛品	520	550
貯蔵品	22	32
繰延税金資産	3,429	2,436
その他	1,926	1,978
貸倒引当金	△372	△330
流動資産合計	66,696	61,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,412	3,296
工具、器具及び備品（純額）	2,176	2,106
土地	1,140	1,141
その他（純額）	296	250
有形固定資産合計	7,025	6,795
無形固定資産		
のれん	244	202
ソフトウェア	1,164	1,120
その他	328	359
無形固定資産合計	1,737	1,682
投資その他の資産		
投資有価証券	5,050	3,663
関係会社株式	3,386	2,966
その他の関係会社有価証券	76	77
関係会社出資金	671	592
繰延税金資産	144	575
差入保証金	4,510	4,534
その他	4,141	3,693
貸倒引当金	△303	△270
投資その他の資産合計	17,679	15,832
固定資産合計	26,441	24,310
資産合計	93,137	86,207

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,840	4,363
短期借入金	695	455
1年内償還予定の社債	1,070	1,095
1年内返済予定の長期借入金	9,059	7,974
未払金	2,868	2,586
未払費用	6,688	6,655
未払法人税等	852	739
未払消費税等	1,779	1,574
賞与引当金	3,232	3,128
その他	1,758	1,760
流動負債合計	32,845	30,332
固定負債		
社債	590	30
長期借入金	7,891	4,400
退職給付引当金	147	151
訴訟損失引当金	2,555	2,555
その他	288	344
固定負債合計	11,473	7,481
負債合計	44,318	37,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,065	29,065
資本剰余金	20,510	20,510
利益剰余金	13,900	13,952
自己株式	△15,923	△15,923
株主資本合計	47,553	47,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	688	△88
為替換算調整勘定	△2,924	△2,806
その他の包括利益累計額合計	△2,236	△2,895
少数株主持分	3,502	3,684
純資産合計	48,819	48,394
負債純資産合計	93,137	86,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	79,030	80,535
売上原価	64,630	67,289
売上総利益	14,400	13,246
販売費及び一般管理費	10,256	10,776
営業利益	4,143	2,469
営業外収益		
受取利息	26	39
受取配当金	16	25
デリバティブ評価益	100	116
その他	370	182
営業外収益合計	513	363
営業外費用		
支払利息	219	133
持分法による投資損失	—	24
為替差損	272	272
その他	94	22
営業外費用合計	586	453
経常利益	4,070	2,380
特別利益		
関係会社株式売却益	—	1,078
企業立地助成金等	35	44
その他	93	6
特別利益合計	129	1,130
特別損失		
減損損失	54	42
投資有価証券評価損	65	179
その他	45	54
特別損失合計	165	275
税金等調整前四半期純利益	4,034	3,235
法人税、住民税及び事業税	448	511
法人税等調整額	878	1,008
法人税等合計	1,326	1,520
少数株主損益調整前四半期純利益	2,707	1,714
少数株主利益	343	140
四半期純利益	2,363	1,573

四半期連結包括利益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,707	1,714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△142	△774
為替換算調整勘定	198	93
持分法適用会社に対する持分相当額	72	25
その他の包括利益合計	128	△655
四半期包括利益	2,835	1,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,447	915
少数株主に係る四半期包括利益	388	143

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,034	3,235
減価償却費	738	669
減損損失	54	42
のれん償却額	123	46
無形固定資産償却費	258	256
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18	△71
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△41	△104
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	291	437
受取利息及び受取配当金	△43	△64
支払利息	219	133
為替差損益 (△は益)	272	272
持分法による投資損益 (△は益)	△148	24
固定資産除却損	8	11
投資有価証券売却損益 (△は益)	△35	△2
投資有価証券評価損	65	179
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△1,078
関係会社株式評価損	—	30
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,826	633
たな卸資産の増減額 (△は増加)	81	△39
仕入債務の増減額 (△は減少)	254	△477
その他	565	△938
小計	4,855	3,195
利息及び配当金の受取額	79	97
利息の支払額	△219	△141
訴訟和解金の支払額	△110	—
法人税等の支払額	△382	△610
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,222	2,541
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△159	△523
定期預金の払戻による収入	265	492
有形固定資産の取得による支出	△724	△395
無形固定資産の取得による支出	△253	△257
投資有価証券の取得による支出	△94	△30
投資有価証券の売却による収入	39	53
関係会社株式の取得による支出	△15	△77
関係会社株式の売却による収入	—	1,585
関係会社の整理による収入	15	—
少数株主からの株式の購入による支出	△21	△2
差入保証金の差入による支出	△120	△155

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
差入保証金の回収による収入	190	153
その他の支出	△83	△7
その他の収入	46	56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△914	890
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,040	850
短期借入金の返済による支出	△1,208	△1,091
長期借入れによる収入	10,000	12
長期借入金の返済による支出	△9,747	△4,587
社債の償還による支出	△535	△535
少数株主からの払込みによる収入	—	36
配当金の支払額	△1,357	△1,513
少数株主への配当金の支払額	△11	△6
その他	△71	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,891	△6,894
現金及び現金同等物に係る換算差額	75	43
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,492	△3,418
現金及び現金同等物の期首残高	31,215	35,969
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,708	32,551

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	62,924	5,792	7,239	3,073	79,030	—	79,030
セグメント間の内部 売上高または振替高	104	4,740	256	1	5,103	△5,103	—
計	63,029	10,533	7,496	3,074	84,133	△5,103	79,030
セグメント利益	3,018	330	154	549	4,052	91	4,143

(注) 1 セグメント利益の調整額91百万円は、セグメント間取引消去35百万円、のれんの償却額55百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	65,551	5,809	8,070	1,103	80,535	—	80,535
セグメント間の内部 売上高または振替高	208	4,788	330	1	5,329	△5,329	—
計	65,760	10,598	8,400	1,105	85,864	△5,329	80,535
セグメント利益	1,821	443	113	64	2,442	27	2,469

(注) 1 セグメント利益の調整額27百万円は、セグメント間取引消去3百万円、のれんの償却額23百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。